# 新潟県中越大震災 20 年 検証事業について

《 事業計画·R5 活動報告 》



公益社団法人中越防災安全推進機構 令和 6 年 3 月

#### 1. 事業の概要と目的

中越地震からの 10 年の復興は「その後の中越の 10 年にどのような影響を与えたのか」を明らかにし、評価を付与するとともに、30 年までの次の 10 年に向けた発信や新旧の担い手の繋ぎ直しを行う。検証作業には中越大震災の復興検証を担った「復興プロセス研究会」の主要メンバーを中心に参集し検証調査を実施する。

- 期間 令和5年10月~令和6年3月 (令和6年4月以降も継続して検証作業を実施)
- 3. 内容(全体構成)
- 1) 中越地域の震災復興、地域再生のキーマンを対象とした復興プロセス調査の実施研究会メンバーにより、以下のインタビューを行う(令和5年11月~令和6年7月頃)
  - ・主に学生メンバー …中越地震から 10 年の担い手を対象としたインタビュー
  - ・主に研究会メンバー …次世代・現在の担い手を対象としたインタビュー
- 2) 復興プロセス研究会の開催(10回)

インタビュー調査結果の共有および議論、復興プロセスの整理を行う ・2023 年 11 月~2024 年 3 月、2024 年 5 月~9 月 月 1 回

3) 復興評価・支援アドバイザリー会議の開催(2回)

研究会による成果を議論し、有識者による評価を付与する

- ·2024年4月頃 第1回、
- •2024年10月頃第2回
- 4) シンポジウムの開催(1回)

研究会の成果を共有し、30 年までの次の 10 年に向けた発信や繋ぎ直しを行う・2024 年 10 月 23 日前後 ※復興学会日程により回数・内容調整

5) 最終成果物のとりまとめ

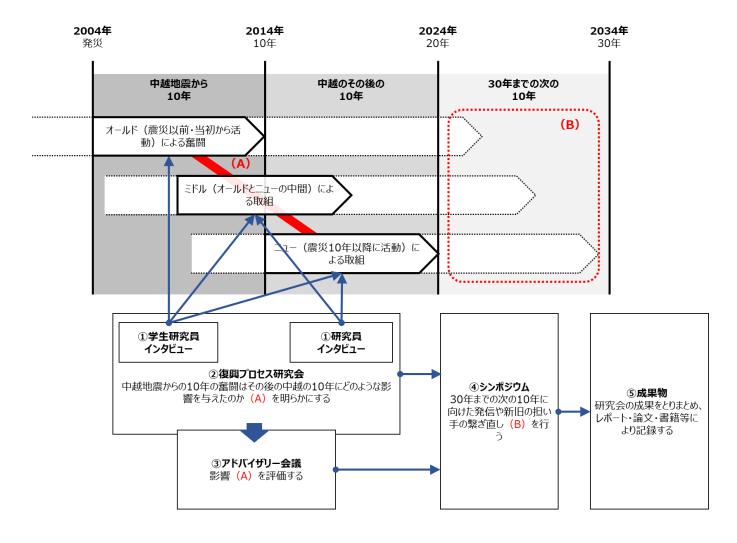
研究会の成果をとりまとめ、レポート・論文を書籍等に記録する

·2024年11月~2025年3月頃

#### 4. 事業の進め方、考え方

被災地復興の歩み、地域復興のバトン、現在地などを各世代別からヒアリング調査を実施 (オールド世代) 震災からの復旧、復興期を支えた世代、被災住民の当時から現在に至る想い (ミドル世代) 震災を機に地域復興、地域再生に尽力し、中心的に活躍している(きた)層

(ニュー世代) 上記の次の世代、子、孫世代のバトンの受け取り方、考え方を聞き取る



## 5. 調査活動

### 1) インタビュー対象、候補者の選定

地域	タイプ	氏名	情報
ШП	オールド	星野晃男	東川口
ШП	オールド	山森瑞江	安田屋
ШП	オールド	中林浩	中島屋
ШП	オールド	星野伸一	木沢
ШП	オールド	星野久子·國樹	木沢
ШП	オールド	喜久代	木沢
ШП	オールド	星野靖	木沢
ШП	オールド	渡辺サチ	木沢
ШП	オールド	小林正利	木沢
ШП	オールド	星野進	木沢
ШП	オールド	星野正子·秀雄	木沢
ШП	ミドル	平沢康隆	
ШП	ミドル	砂川裕次郎	竹田
ШП	ミドル	中林道泰	くらしサポート越後川口
ШП	ミドル	春日淳也	元支援員、みんなの八ム
ШΠ	ニュー	安田屋息子	安田屋
ШП	ニュー	中島屋息子	中島屋
ШП	ニュー	星野晃男娘	
小千谷	オールド	細金剛	若栃
小千谷	オールド	平澤忠一郎	東山
小千谷	オールド	鈴木俊郎	十二平
小千谷	オールド	星野哲雄	塩谷
小千谷	ミドル	細金創	若栃
小千谷	ミドル	石曽根徹	元支援員
小千谷	ニュー	佐藤瑞穂	片貝、元川口支援員、市議会議員
小千谷	ニュー	高木健太	市議会議員、杉並
山古志	オールド	五十嵐豊	山古志支所

地域	タイプ	氏名	情報
山古志	オールド	関まさし	市議会議員
山古志	オールド	五十嵐夏子	多菜田
山古志	オールド	青木勝	アルパカ
山古志	オールド	関信一	元LIMO
山古志	オールド	田中仁	
山古志	オールド	斉藤隆	
山古志	ミドル	竹内春華	元支援員、山古志住民会議
山古志	ニュー	長島忠史	小さな山古志楽舎
山古志	ニュー	デジタル村民	nishikigoi nft
山古志	ニュー	松井富栄	松井治二息子
山古志	ニュー	森山 明子	山古志角突き女子部
小国	オールド	大橋昭司	法末
小国	ミドル	西澤卓也	
小国	ニュー		
栃尾	オールド		
栃尾	ミドル		
栃尾	ニュー		
十日町	オールド	山本浩史	NPO法人地域おこし 元代表理事
十日町	ミドル	多田朋孔	NPO法人地域おこし 代表理事
十日町	ミドル	小山友誉	一社里山プロジェクト 代表理事
十日町	ニュー		
魚沼	オールド		
魚沼	ミドル		
魚沼	ニュー		
南魚沼	オールド		
南魚沼	ミドル		
南魚沼	ニュー		

## 2)調査の進捗

## 令和6年3月21日までに31回のインタビューを実施した。

地域1	地域2	オールド	ミドル	<u>_1</u> _	関係
ЛΙΠ	東川口	星野晃男		星野瑠枝子	親子
	東川口	山森瑞江		山森健也	親子
	東川口	中林浩	中林正臣(未)		親子
	木沢	星野伸一、星野久子・國樹、 喜久代、星野靖、渡辺サチ、 小林正利、星野進、 星野正子・秀雄			
	木沢	平沢勝幸	平澤康隆(未)		親子
	竹田	砂川裕次郎			
	油夫	青木勝			
山古志	虫龟	五十嵐なつ子			
шпль		田中康雄			
			竹内春華	福田洋介	デジタル村民
小国	法末	大橋昭司		内山英機	総代引き継ぎ。後継者と認識
栃尾			多田文子(未)		
	東山·塩谷	星野哲雄			
	東山·荷頃	平澤忠一郎			
小千谷	東山・十二平	鈴木俊郎		鈴木仁	十二平を守る会を継承
דדרון	若栃	細金剛	細金創(未)		親子、Mtファームを引き継ぎたい
	片貝			佐藤瑞穂	
	塩殿			高木健太(未)	
十日町		山本浩史		地域おこしメンバー(未)	組織の仲間・引継ぎ
魚沼					
南魚沼					

#### 3) インタビュー実績(抜粋)



- 平澤勝幸さん (川口/オールド枠)
- ・年寄りは皆このままでいいと思っている。
- ・地震がなければほとんどつながりはなかった。
- ・自分は木沢の人間だけど一度ここを離れているからまだしこりがある気がする。
- ・頑張っている連中がいるから自分の活動は続いていくと思う。



#### 細金 剛さん(小千谷/オールド枠)

- ・地域再生はボランティアでは持続性がなくダメ。
- ・稼げるシステムを作らないと続かない。
- ・復旧、復興とみてきて、取り組んできたことが評価されてありがたっかったが、後継者問題、これからのことを考えると不安。
- ・作ってきた民宿の活動ややりたかったこともまだまだあるが、引き継ぎがうまくできていない。



#### 大橋昭司さん(小国/オールド枠)

- ・廃校利用の民宿「やまびこ」では楽しませてもらった。
- ・いろいろな人が訪れてくれて一時は活性化できた
- ・大勢の方のお世話になって。数えきれないほど。
- 村の人だけだったら、こんなことはできなかった。



#### 星野留枝子さん (川口/ニュー枠)

- ・年配の方がまだ色濃くやっている中で若い世代は入りづらい。
- ・ (震災から 10 年以上経っても) まだ復興って言っているんだ。
- ・子どもが川口に帰ってきたいと思うような地域にしないといけない。
- ・同じ人ばかりではなく一人一人が主役になれることがあったら川口に残る理由になるのかな。



佐藤瑞穂さん(小千谷/ニュー枠)

- ・震災で小千谷の市民性は確認できた。小千谷は静かに頑張ってきた。
- ・まちづくりの仕事は震災当時のことと当てはめられる。
- ・宮崎市長の能登のスピード感。中越地震の経験があるのだろう。
- ・震災 10 年以降での復興支援員の仕事は当時の話を聞くばっかりで難しかった。 やりようが無かった。

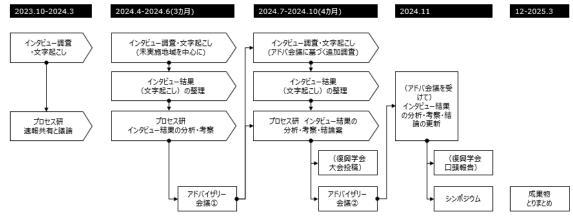


山森健也さん (川口/ニュー枠)

- ・川口エンジンは少し世代が上。僕まで声がかかっていない。
- ・昨年の 10.23 のイベントの時に話を聞いて僕も知らないところで 色々動いているんだと思った。
- ・彼女は安田屋を手伝いたいと言っているが、とりあえず大丈夫と伝えている。
- ・安田屋を続けていきたい思いはあるが次の世代になると、役目 が終わるのではないかと思う。

#### 6. 今後のとりまとめ作業

インタビュー結果の整理、文字起こしを進めつつ、追加調査を継続して実施。 研究会メンバーで結果の分析、考察を実施し「復興検証アドバイザリー会議」にて議論。 復興 20 年の調査(成果)としてとりまとめを進めていく。



#### 調査活動の要点(とりまとめ方針)

	オールド (震災以前・当初から活動)	ミドル (オールドとニューの中間)	ニュー (震災10年以降に活動)
中越地震以降のヒストリーと取り組みにつ いて (事実確認)	自身のヒストリーと取組について     0-10年、10年-20年の変化	自身のヒストリーと取組について     0-10年、10年-20年の変化	<ul> <li>自身のヒストリーと取組について</li> </ul>
中越地震やその後の復興の取り組みの捉 え方	<ul> <li>どう捉えているか</li> <li>地震が無かったとしたらどのような現在 を迎えていると思うか</li> </ul>	<ul> <li>どう捉えているか</li> <li>地震が無かったとしたらどのような現在 を迎えていると思うか</li> </ul>	<ul> <li>どう捉えているか</li> <li>地震が無かったとしたらどのような現在 を迎えていると思うか</li> </ul>
中越地震10年とその後の10年の影響	<ul> <li>10年の審闘が現在にどうつながっているか</li> <li>自身の後継者や活動の展開の有無、その内容</li> </ul>	10年の審闘が現在にどうつながっているか/と思うか     影響を受けた/与えた人や取組の有無、その内容	10年の審闘が現在にどうつながっていると思うか     影響を受けた人や取組の有無、その内容
これからの展望について	・ どんな20年、30年を迎えたいか	・ どんな20年、30年を迎えたいか	・ どんな20年、30年を迎えたいか